

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たいら金時

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 12 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	医療の必要がなく、家族様・本人様が施設を最期の場所にしたいと希望がある時は、医療・訪問看護師・家族様と連携して希望に沿う必要がある。	定期的に看取り研修をしていき、又家族の様に暮らしていく内に自然の流れの中で看取りが出来るようになる。	①職員会議の場で看取り研修を重ねていく ②訪問看護師さんに随時研修を依頼していく ③家族様・医療・訪問看護師と密に連携していく	12ヵ月
2	28	加齢に伴い、身体機能・下肢筋力の低下の為活動範囲が狭くなり出来る事が減ってくる事が悪循環になり、転倒のリスクが高くなる事がある。	多少負荷のかかる運動を取り入れ筋肉を鍛え、出来る事を増やす事で本人様の自信に繋がり、活動範囲広がり、生き生きと生活が出来る。	①午前中のレクリエーションの時間はリズム体操・リハビリ体操・踏み台昇降台・立ち上がり運動を中心に行う ②動作は出来るだけ大きくゆっくりと行って頂く ③個々出来る事を役割として毎日継続して頂く ④出来た事は一緒に喜ばせて頂く	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。